

注) 記入例ですので、該当しない項目は空欄となっています、届出においては該当する項目は必ず記入して下さい。

様式第1号の2(第2条関係)

エックス線装置概要書

個人

法人



1 エックス線装置に関する事項

台数		2		台				
エックス線装置	設置年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日			令和〇〇年〇〇月〇〇日			
	製造年月日	平成13年6月			令和2年6月			
	設置時の状態	新品・中古品			新品・中古品			
	製作者名	(株)東芝			(株)東芝			
	型式	KXO-15K			TSX-003A(Auklet) :CT			
	高電圧発生装置の定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
		連続	120 kv	4 mA	—	kv	mA	—
		短時間	150 kv	300 mA	0.1 秒	120 kv	200 mA	秒
		蓄電式	kv	μF	—	kv	μF	—
	主な用途	撮影・透視・透視			撮影・			
装置のタイプ	固定式・可搬式・ポータブル			固定式・可搬式・ポータブル				
エックス線管の容器及び照射筒の漏れ放射線量		規制値 (以下・超える)			規制値 (以下・超える)			
総ろ過量		2.5 mmAl当量			2.5 mmAl当量			
エックス線装置の防護	透視用	時間の積算かつ警告音等を発することができるタイマー	有・無			有・無		
		利用線すい可動絞り装置の構造	適・否			適・否		
		受像器を通過後の放射線量	規制値 (以下・超える)			規制値 (以下・超える)		
		最大照射野を3cm超える部分を通じたエックス線の放射線量	規制値 (以下・超える)			規制値 (以下・超える)		
		被照射体周囲の利用線すい以外のエックス線防護設備	有・無			有・無		
撮影用	利用線すい可動絞り装置の構造	適・否			適・否			
	照射野の直径(口内法撮影用エックス線装置の場合)	cm			cm			
	エックス線管焦点及び被照射体から作業従事者までの距離(移動型及び携帯型エックス線装置並びに手術用のエックス線装置の場合)	m			m			
治療用	ろ過板保持装置(インターロック)	有・無			有・無			

2 エックス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要



1週間の延べ撮影回数		42.0	回	レントゲン30回、CT12回
1週間の延べ透視時間		時間		
診療施設の構造等	形態	独立家屋 (2 階建て) マンション等の集合家屋 (階建て 階) その他 ()		
	構造	耐火構造 (不燃材)、オ 不燃材 プレハブ、その他 ()		
エックス線診療室の概要	形態	エックス線診療専用の室、診療室との兼用の室 手術室と兼用の室、その他 (CTは操作室有)		
	操作室の有無	有 ・ 無		
診療室等の遮へい物等の概要			材質等	厚さ(cm)
	天井		鉛複合板	10cm
	床		鉄筋コンクリート	15cm(CT室)
	周囲の遮へい物 (画壁を含む)	(東側)	鉛合板	1.0mmpb(2.0mmpb)
		(西側)	鉛合板	1.0mmpb(2.0mmpb)
		(南側)	鉛合板	1.0mmpb(2.0mmpb)
		(北側)	鉛合板	1.0mmpb(2.0mmpb)
	監視用窓		鉛ガラス	1.0mmpb(2.0mmpb)
	出入口の扉		木製鉛板入り	4cm、1.0mmpb(2.0mmpb)
	診療室の遮へい物の外側における実効線量		1	mSv/週
	診療室である旨の標識		有 ・ 無	
注意事項の掲示		有 ・ 無		

3 エックス線診療室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における実効線量	1.3	mSv/3月間
	立入制限措置	遮へい物 (材質等: 壁)による区画 白線による区画、その他 ()	
	管理区域である旨の標識	有 ・ 無	
敷地内の居住区域及び敷地の境界	人が居住する区域における実効線量	250	μ Sv/3月間
	敷地の境界における実効線量	250	μ Sv/3月間



4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋(有)、防護エプロン(2枚)、 その他(名称: 、数量:)
放射線測定用具の保有状況	フィルムバッジ(2)・ポケット線量計()、 蛍光ガラス線量計()・ルクセルバッジ() その他(名称: 、数量:)
放射線測定器の保有状況	有 ・ <u>無</u>
	(測定器名: 、数量:)
線量測定方法	<u>実測</u> ・ 計算
実測測定器名	アロカ(株)製 電離箱式サーベイメーター ICS-321型
その他の措置(健康診断等)	健康診断

5 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏 名	エックス線診療に関する経歴
福岡 太郎	H7.4～H12.1 ◎△動物病院 岡山市 H12.2～H23.7 □☆ペットクリニック 東京都 H25.4.1～ 当院にて従事
福岡 花子	H8.4～H13.1 ***犬猫病院 神奈川県 H13.2～H23.7 □☆ペットクリニック 東京都 H25.4.1～ 当院にて従事

枠が不足する場合は、
A4用紙に別記して提出

6 エックス線診療室における放射線測定者の概要

測定機関	名称	福岡メディカル
	所在地	福岡市東区箱崎ふ頭二丁目1番1号
測定実施者氏名	博多 花丸	
測定日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	

(備考)

- | | | |
|---|---|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 エックス線管の位置を記入した診療所(室)の平面図 2 エックス線装置を使用する部屋の遮へい物等の配置状況 3 エックス線診療室における放射線測定結果書 | } | を添付すること。 |
|---|---|----------|